

和光本所に「脳科学総合研究センター」を開設

理研は、我が国の脳科学研究の中核的研究機関として、「脳科学総合研究センター」を平成9年10月1日、和光本所に開設しました。

脳科学総合研究センターは、我が国の脳科学を総合的に牽引する役割を果たすとともに、現代の社会的、国民的課題である脳における諸問題を解明するため、目標達成型のアプローチにより計画的に研究を進めます。

そのため「脳を知る領域」、「脳を守る領域」、「脳を創る領域」の3つの研究領域を対象に、各研究課題を効率的に推進するための研究グループ、研究チームを設け、国内外の研究機関と連携し、多くの優れた研究者を招聘して研究を実施します。

「知る」の領域では、ニューロン機能、神経回路メカニズム、高次機能の研究などにより、脳の働きを解明します。「守る」の領域では発生分化、病因遺伝子などのテーマで脳の

病気克服を目指し、「創る」については脳型デバイス、脳型情報システムなどを研究して脳型コンピューターの開発に結びつけていきます。

また、脳科学研究に不可欠な先端的技术課題を克服するために、同センター内に先端技術開発センターを設置します。

なお、同研究センターの開設に伴い、来たる11月11日(火)には東京プリンスホテルにおいて、利根川マサチューセッツ工科大学教授をはじめ各国のトップサイエンティストを招いて開所記念国際シンポジウムを開催致します。



脳・神経科学総合研究棟（東研究棟）